

# ほのぼのせや

No. 44  
2013.9.30

承認●瀬谷区第16号

www.seyaku-shakyo.jp

## あなたの町の地区社協、「会長さん」ってどんな人?

地区社協会長プロフィール 大公開!! part5

皆さんにお聞きしました ①経歴 ②趣味 ③地区社協でこれから力を入れていきたい事、目標等 ④地区の自慢 ⑤メッセージ



**瀬谷第一地区社協**  
**竹内 六郎** 会長

- 昭和25年に横浜市保健所に奉職し、昭和64年退職。その後保健活動推進員を経て地区社協の会長をしています。
- 読書
- 高齢者の見守りとWATの継続。
- 連合町内会+民生委員+老人クラブ連合会+友愛活動員+保健活動員+ボランティア
- WAT=W-ウォッチング  
A-アクション  
T-チーム の略称です。



**宮沢地区社協**  
**福田愛一郎** 会長

- 地区体指12年後、民生委員を現在3期目。認知症キャラバン・メイトとして、小・中学校・地域で認知症サポーター養成講座を開催しています。
- スポーツは何でも大好き。
- 地域福祉のネットワークづくり、顔の見える関係づくりなどから災害時の助け合い、孤独死、児童虐待ゼロなど誰もが住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていける、そんな町「福祉のまち宮沢」を目指します。
- 宮沢は、ボランティア活動を率先して取り組んでくれる人材が豊富です。
- 地区社協と連合自治会が二人三脚で「みんなでつくるみんなの幸せ」を合い言葉に「水緑(みりよく)の宮沢」をつくりましょう。



**阿久和南部地区社協**  
**相原 和行** 会長

- 平成16年に原小学校PTA会長を引き受けたのをきっかけに地域デビューをしてしまい(?)、平成23年度から地区社協の会長を務めています。
- 旅行・ドライブ(最近は行ってませんが...)
- 高齢者や障害者の見守り体制の充実はもとより、子どもたちにも目を向けていきたいと考えています。「地域で育てる子どもたち」を念頭に置いた活動を目指します。
- 個々の地域の皆さんが、内外ともに固く結ばれていて、それが阿久和南部地区の大きな力になっているところです。
- お年寄りも子どもたちも、みんなが「知り合い」。そんな阿久和南部地区になったら素敵じゃないですか。

## 平成25年度 ほのぼのせや ふれあい助成金 下記の132団体に総額8,485,700円を助成しました。

A:市民参加による地域福祉推進事業助成	サロンよってA	45,000	瀬谷北部あじさい会	54,000	瀬谷区肢体障害者福祉協会	43,000
配食サービスいなほ会	ほっとサロンゆうあい	60,000	むつみ会	60,000	原つば 親の会	45,000
配食サービスかしわ会	ほっと三ツ境	42,000	すみれ会(ふれあい給食)	70,000	瀬谷区障害者団体連絡協議会	45,000
配食サービス火曜の会	ゆうぎりサロン	60,000	このは会	54,000	E:その他福祉団体及びボランティア活動の連絡助成	
特定非営利活動法人キッチン窓	ユートピアそごやクラブ	60,000	はつらつクラブ	70,000	瀬谷区子供会育成連絡協議会	127,000
配食サービスたんぽぽの会	素老ハイソ自治会 素老サロン	52,000	子育てサロンえむ	40,000	瀬谷区老人クラブ連合会	130,000
配食サービスひまわり会	喫茶だんらん	23,000	ゆうスリー	70,000	瀬谷区障害者ふれあい交流会	120,000
配食サービス木曜の会	サロンよってB	45,000	つどいの広場「ほっとスペース」運営委員会	70,000	瀬谷区連誼会	25,000
特定非営利法人「せや」	元気倶楽部	60,000	あくわキッズみなみ	70,000	瀬谷区ふれあい食事連絡会	45,000
はあとの会	ひなた山サロン井戸端	60,000	Star Dust Club	70,000	横浜市母子寡婦福祉会 瀬谷支部	45,000
宮沢配食部	誰でもサロン一福	18,000	瀬谷はとの会	50,000	F:子どもグループ	
グループ・男の手貸します	サポートクラブ ニュータウン	18,000	手話サークルさかいの会	63,000	カスタネット	18,000
あやめ会	南部にごごサロン	60,000	瀬谷区手話サークル杉の会	70,000	キティメイト	25,000
サロン「北の宿」	サロンスプリングガーデン南瀬谷	45,000	瀬谷区傾聴ボランティアえがお	63,000	すくすく	25,000
瀬谷どんぐりの会	モボ・モガ 喫茶	60,000	にほんごせや	40,000	ピッコロ	25,000
サロンたんぽぽ	サロン中屋敷	60,000	国際交流Seya	63,000	子育てサークル たるまの会	18,000
阿久和北部連合サービスさくらんぼの会	県二サロンさくら	60,000	かたり部「わ」の会	35,000	子育てサークル たんぽぽ	25,000
にごご会	うたごえひろば	20,000	瀬谷区災害ボランティアネットワーク	63,000	げんき&きしゃぽぽ	15,000
阿久和生利ハビリはまなすの会	ふれあいサロン(左馬)	50,000	せや布えほんくらぶーが	61,000	ほご-あ-ほご	15,000
宮沢ひまわり会	サロン・スマイル	27,000	リ・ブックセヤ	40,000	G:単発事業	
もみじの会	相沢ふれあいサロンI	50,000	瀬谷まほろば	45,000	お仲間サロンひなたぼっこ	40,000
楽友会	B:障害当事者活動助成		本郷いきいき体操ピッコロ会	70,000	瀬谷区肢体障害者福祉協会	38,000
デイサービスほのぼのサロン	MIX:F-C	72,000	元気塾Do	20,000	配食サービスたんぽぽの会	40,000
ふれあいサロン下瀬谷	障害者青年学級 新鮮組	81,000	瀬谷区知的障害理解啓発グループant mama	63,000	音声訳グループつくしの会	40,000
ひよこサロン	三ツ境MAX	72,000	横浜にしおやこ劇場わいわい	70,000	ユートピアそごやクラブ	40,000
サロンさざんか	瀬谷きららの会	55,000	瀬谷マツククラブ	63,000	瀬谷区聴覚障害者協会	40,000
おどなり会	コアラの会	90,000	あすなろ塾	54,000	横浜にしおやこ劇場わいわい	40,000
金曜会	ほっぺ就学部	90,000	M-Kサークル	70,000	交流フェスティバル実行委員会	40,000
アイの会	TUKIICHI	50,000	こどものもりプレーパーク	63,000	配食サービスいなほ会	40,000
音声訳グループつくしの会	インディース	72,000	アイエス	20,200	H:会場費特別加算	
相沢ふれあいサロンII	ホップステップ	44,000	ニツ橋おやじの会	60,000	はつらつクラブ	20,000
おさそい会	C:福祉のまちづくり活動助成		アガシアの会	63,000	にごご会	20,000
お仲間サロンひなたぼっこ	相沢ふれあい食事会	70,000	D:障害者支援組織・障害当事者団体助成			
喫茶ハンバー	阿久和南部高齢者食事会	70,000	あじさいの会	45,000		
サロンふらっと宮沢	阿久和北部お楽しみ食事会	70,000	ジャンプ	45,000		
サロン瀬谷運営委員会	瀬谷第一民児協あじさい会	70,000	瀬谷区聴覚障害者協会	45,000		

<前号の訂正> 前号(43号)の「法人賛助会費にご協力いただいた皆様」のお名前に誤りがありました。 <誤>イーフラップ<正>(有)イーフラップ



**せやまる・ふれあい館**

●アクセス  
相鉄本線「三ツ境駅」下車 徒歩約15分  
または、三ツ境駅北口より相鉄バスにて「中丸」バス停下車 徒歩約5分

●駐車場  
26台 ※障害者用駐車場2台  
※台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

●開所時間  
■横浜市瀬谷区社会福祉協議会 月～金曜日/9:00～17:00  
■瀬谷区ボランティアセンター 月～土曜日/9:00～17:00  
■瀬谷区福祉保健活動拠点「パートナーせや」 月～土曜日/9:00～21:00 日曜日・祝日/9:00～17:00

●編集後記  
暑い夏がやっと終わった。この異常に暑い夏に頑張った人たちがいる。釜石でボランティアをしたり瀬谷丸を届けたり、熱い活動に被災地の方々だけでなく私たちが励まされる。人間不信に陥りそうなニュースの多い中、一歩でも半歩でもできることから始めたいと改めて思う。世の中捨てたもんじゃない。(紅林)

委員長 ● 遠山 文晴(瀬谷第四地区民児協)  
副委員長 ● 勝木 基博(三ツ境地区社協)

中野しずよ(ワーカーズわくわく) / 紅林千津子(相沢地区民児協)  
米倉 令二(瀬谷区障害者団体連絡協議会)



### ボランティアバス報告

## 釜石で心をひとつに

平成25年8月2日(金)～8月4日(日) 2泊3日(車中1泊) 37名(うち高校生21名)



釜石商工(男子)と横浜華人高(女子)の交流

昨年度に引き続き、岩手県釜石市の鈴子広場で行われた夏祭り「鈴子の盆」の運営支援。具体的にはポップコーン、かき氷、綿あめの販売(各50円)、ヨーヨー・スーパーボールすくい(1回50円)、バルーンアートの配布、灯籠作りコーナー、浴衣・甚平配布コーナーの運営等を行いました。当日の売り上げ1万8千円は義援金として釜石市社会福祉協議会へ寄付しました。夕食は会場内の仮設店舗を利用することにより、経済的支援と交流も行いました。また、お祭り実施前の時間を利用して、前釜石市社協矢浦事務局長による被災地視察も行いました。

8月4日(日)の午前中は「みんなの手で釜石にビーチを取り戻そう」というB-1(ビーチ)プロジェクトの一環で、海岸の草刈り作業を行いました。

生で見て感じたことを家族や友達に伝えることがボランティア参加者の役目だと思うので、帰ったら撮った写真を見せながら色々話したいと思います。【高校生・女性】

瀬谷区でこのような取り組みを継続的にやっていることをもっと広めて、多くの人に参加してもらい、生で被災地の現状を見てもらいたいと強く感じました。【20代・男性】



被災地視察



浴衣を着せてもらってポーズ



灯籠に思いを込めて

自発的に参加している高校生の多さにびっくりしました。世代で感じる違いもあると思うので、同級生や先輩・後輩に伝えてもらいたいと思います。【40代・男性】

浴衣・甚平のコーナーを担当し、瀬谷区の皆さんの想いと思い出が詰まった着物をお渡ししました。お子様が浴衣を着て喜ぶ姿、それを見ている笑顔の大人たち。とても素晴らしい時間を過ごすことができました。このような機会を下された皆様に感謝いたします。瀬谷区のこと、もっと大好きになりました。瀬谷区民になることができ本当に良かったです。【20代・女性】

この事業は神奈川県共同募金「たすけあい福祉資金」の配分を受けて実施しました。

10月1日から「赤い羽根共同募金」が始まります。今年も皆さまのご協力をお願いいたします。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により作成しています。



## 黄色と緑色のバンダナとは？

地域防災拠点が「いつとき避難場所」になった時、サインとして活用できるように区内15カ所に各色100枚ずつ配備してある物です。

黄色のバンダナは何か助けを必要としている高齢者、障害者、外国籍の人などが使い、一方緑色のバンダナは地域の民生委員さん、自治会役員さんなど「何かお手伝いできますよ、お声かけください」というサインで首や腕に巻いて目印にします。一度にたくさんの方が集まり混乱する避難所で有効活用できるよう、日頃の訓練が大切です。



## 平成25年度事業計画について

平成25年度も引き続き活動主体の支援として地域福祉活動の推進と、その活動を広く区民にアピールするための広報啓発活動を積極的に行います。特に今年度は個別支援や障害支援を継続的にするために、地域ケアプラザと協働した事業を進めます。

24年度事業報告と25年度事業計画の詳細については本会ホームページをご覧ください。

## 障害児余暇支援事業「みーとすまいる」

平成25年7月28日(日)、ニッ橋第二地域ケアプラザと共催で親子で参加の障害児余暇支援事業「みーとすまいる」を開催しました。ボランティア・スタッフを含め総勢29名が参加しました。講師にはピーブ・ラボのお二人をお呼びし、音楽プログラムを皆で楽しみました。なかでもバラバルーンを使ったプログラムには子どもたちも笑顔があふれ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

また次回も参加したいとの声も多く、第2回は11月の実施予定となっております。



## ボランティアメニュー

ボランティアの裾野を広げる活動として区内の飲食店等にボランティアメニューの設置を進めてきました。今年度は瀬谷駅中心に開拓し、これまでに20カ所以上のお店にご協力をいただいております。最近では瀬谷駅を中心に「ハナ」「鯉八」「芝波田」「鳥向」「美久屋」「麗紅」「和楽」「ドーナツ・アポストリー」にご協力をいただいております。



## 夏のJOBTRIAL報告

瀬谷区の高校生が「福祉の仕事」について、ボランティアではなく仕事として体験するプログラムを7月25日～8月8日まで初めて実施しました。体験先はシャローム三育保育園、子育て支援拠点「にこてらす」、せや活動ホーム太陽、ニッ橋地域ケアプラザの4施設で延べ11名が参加しました。



参加者の感想です  
 ◎感謝される喜びを実感できました。将来は福祉の仕事をしたしたいと思います。  
 ◎保育士の仕事は思った以上に大変でしたが、やってみて辛いというよりも『なりたい!』という気持ちが大きくなりました。  
 ◎今日体験して大変だけれど、楽しくて充実していたので夢に向かって努力しようと思います。

黄色と緑色のバンダナ

ボランティアメニュー

夏のJOBTRIAL報告

障害児余暇支援事業「みーとすまいる」

コミュニケーションボード

## コミュニケーションボードの設置について

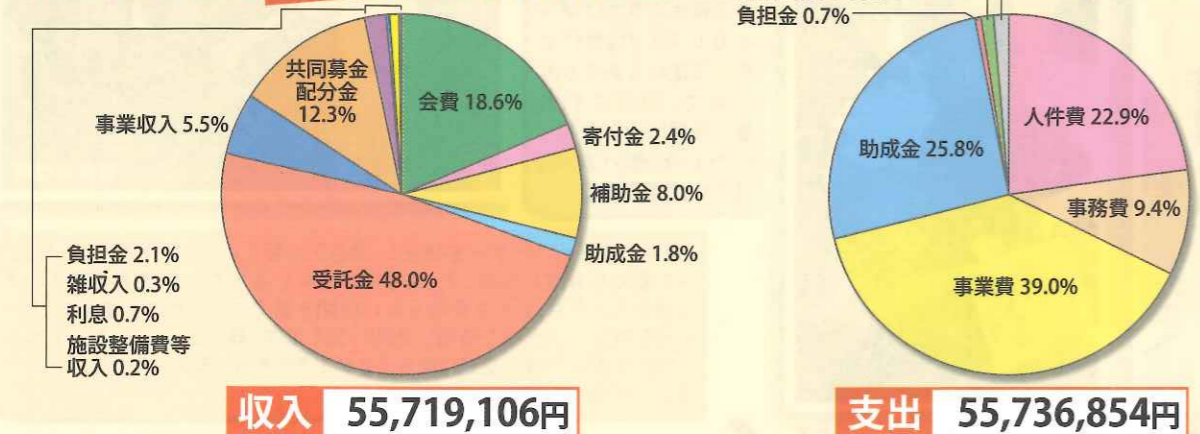
コンビニエンスストアなど暮らしに身近なお店で、障害者と店員さんとの意思疎通が上手できるように、誰もが理解しやすい絵記号等が掲載されたコミュニケーションボード。平成17年にお店に配布されましたが、平成24年には設置されていない状況が確認されました。

この度、ファミリーマートさんに相談させていただいたところ、再度の設置にOKをいただき、さらにコミュニケーションボード設置店舗マークも店頭に貼っていただくことになりました。

この取組のきっかけは、養護学校PTAの研修会でコミュニケーションボードの説明をした時に、会場の参加者からいただいた「そのようなものがあるのを知りなかつた」「どのお店に設置してあるのか知りたい」などのご意見です。その後、本会の障害福祉関係分科会でも同じご意見をいただき今回の設置となりました。今後はこのボードをご活用いただくことで、誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会づくりを、みんなで実践していければと思います。



## 瀬谷区社協 平成24年度 決算報告



## 釜石物産販売報告

7月9日から始まった「釜石物産販売」は最終日の12日を待たず、11日の午前中で完売御礼となりました。皆さまのご協力ありがとうございました。また、売り上げのうち32,400円を瀬谷ボランティアバスのために寄付しました。今後も開催する予定ですので、その際にはご協力をよろしくお願いいたします。



## 灯籠祭りについて

東日本復興祈願として開催された第5回七夕灯籠祭りは、阿久和北部地区と三ツ境地区の連合自治会・地区社協が共催する住民発意で始まったお祭りです。今年も灯籠祭り実行委員会より義援金55万円と50基の灯籠が釜石市に寄付されました。

また、瀬谷ボランティアバス実施のために20万円の寄付をいただきました。



瀬谷区社協「事業の樹」